

迷子になるとわかること

160520

生まれつきの相違だね
遺伝子の力の凄さには
呆れるね近衛兵の父は
眼瞑つても皇居内は
迷わずに歩けると威張ってた
それが証拠に
戦地に行っても迷子にならずに

あおば

無事帰還できた

戦地で迷子になったらそれこそ

ゲリラの餌食となり

身ぐるみ剥がされるどころか

あっさりと殺されて

何処かに埋められてそれっきり

昼は従順な村民を装って

夜は精悍なゲリラ兵

迷ったら

置いてけぼり食ったら

それこそ命がいくつあっても足りません

肝心なのは正規軍に迷わず付いてゆくこと

戦陣訓には書いてないけど

父はそれを知っていた

だからこそいまがあり

ゴルにも参加できるのですが

その遺伝子は伝わらなかつた様で

何度も道に迷いガラホ無くては

何処にも行けなくなりました

道路で狐に騙されたこともあり

なんども薄暗い道をぐるぐる辿り

へとへとになり真っ暗になり

その後どうしたか分かりませんが

無事にいまがあるところを見ると

肥だめに落ちては居ない様です

肥だめに落ちると一生そのことを言われるから

それだけは注意していたのかもしれませんが
ところで、タイトルは何だっけ、と
可愛い迷子も嬲り殺しにされる
それが自然の掟ですね

初出「即興ゴルコンダ(仮)」

<http://golconda.bbs.fc2.com/>

タイトルは、松本ダンプさん